

日本・アジア／米国間コンテナ貨物の荷動き動向について (2018年5月〔往航〕速報値)

(公財) 日本海事センター 企画研究部

* 文中の％は、寄与度とシェア以外で特に記載がない場合は、対前年同期比を表します。

I. 往航（アジア 18 ヶ国・地域→米国）の荷動き

- (1) 2018年5月のアジア（18 ヶ国・地域）から米国へのコンテナ荷動き量は、前年比2ヶ月連続の減少となる7.5%減の133.9万TEU。伸び率はマイナスとなったものの、単月では過去最高となった2017年5月（144.8万TEU）に次ぐ過去2番目の荷動き。なお、前月比ベースでは3.7%増（約4.8万TEU増）。一方、1-5月の累計では前年同期比4.1%増の672.1万TEUと過去最高を更新。
- (2) 国別では、日本（1.6%減）、中国（8.9%減）、韓国（6.4%減）、台湾（11.1%減）、ベトナム（1.6%減）、インド（0.9%減）などの主要国すべてが減少。地域別では、ASEAN（3.6%減）、南アジア（1.9%減）ともに減少。
- (3) 品目別では、上位10品目すべてが前年比減少。個別の品目では、「家具及び家財道具」（寄与度1.7%減）、「一般電気機器」（同0.7%減）、「繊維及びその製品」（同0.5%減）、「自動車部品」（同0.4%減）などが減少要因。
- (4) 日本は、3ヶ月連続の減少となる1.6%減の5.2万TEU。品目別の1位（2016年の年計ベースの各国・地域の品目別順位、以下同様）の「自動車部品」（3.4%減）が4ヶ月連続の減少、3位の「タイヤ及びチューブ」（3.2%減）が5ヶ月ぶりの減少、5位の「テレビ、ビデオ等の映像・音響製品」（13.1%減）が7ヶ月ぶりの減少。
- (5) 中国は、2ヶ月連続の減少となる8.9%減の85.9万TEU。1位の「家具及び家財道具」（12.8%減）、2位の「繊維及びその製品」（6.8%減）及び4位の「おもちゃ」（17.3%減）が2ヶ月連続の減少。3位の「一般電気機器」（6.1%減）が2ヶ月ぶりの減少と上位10品目が減少。香港は2ヶ月連続の減少となる16.0%減の2.1万TEU。
- (6) 韓国は、5ヶ月ぶりの減少となる6.4%減の6.9万TEU。1位の「自動車部品」（15.0%減）及び2位の「一般電気機器」（7.3%減）が2ヶ月連続の減少、3位の「タイヤ及びチューブ」（12.3%減）が3ヶ月連続の減少。
- (7) 台湾は、3ヶ月連続の減少となる11.1%減の5.2万TEU。1位の「建築用具及び関連品」（9.1%減）、3位の「家具及び家財道具」（19.2%減）及び4位の「床材、ブラインド等のプラスチック製品」（4.9%減）が3ヶ月連続の減少、2位の「自動車部品」（24.9%減）が2ヶ月ぶりの減少。
- (8) ASEANは、インドネシア（9.8%減）、タイ（7.4%減）、ベトナム（1.6%減）などの主要国が減少となったことなどにより、全体では25ヶ月ぶりの減少となる3.6%減の20.7万TEU。ベトナムは26ヶ月ぶりの減少となる1.6%減の9.0万TEU。2位の「繊維及びその製品」（15.3%増）が9ヶ月連続の増加、3位の「履物及び附属品」（21.2%増）が11ヶ月連続の

増加となったものの、1位の「家具及び家財道具」（4.4%減）が26ヶ月ぶりの減少となったことが減少の要因。

(9) 南アジアは、すべての国が減少となったことにより、全体では14ヶ月ぶりの減少となる1.9%減の7.8万TEU。インドは14ヶ月ぶりの減少となる0.9%減の5.9万TEU。1位の「繊維及びその製品」（9.7%減）が5ヶ月ぶりの減少、3位の「セメント、石、砂等」（13.2%減）2ヶ月ぶりの減少。

(10) 船社別（2018年1-5月累計（暫定値）の船社別順位、以下同様）：6月27日発表時から修正を加えました。

1位のCMA-CGM + APL/NOLが2ヶ月連続の減少となる9.2%減の20.2万TEU（1-5月累計のシェア：15.00%）。2位のONE（NYK + MOL + KL）が3ヶ月連続の減少34.8%減の15.0万TEU（同：13.82%）。3位のCOSCONが5ヶ月ぶりの減少となる13.2%減の12.9万TEU（同：10.35%）。4位のEVERGREENは3ヶ月連続の減少となる14.2%減の12.9万TEU（同：9.75%）。5位のMAERSKは2ヶ月ぶりの減少となる11.6%減の12.4万TEU（同：9.59%）。

表-1 2018年5月：積国・地域別荷動き

国・地域	往 航				
	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	シェア (%)	1-5月の 累計(TEU)	前年同期比 (%)
18ヶ国・地域 合計	1,338,527	▲7.5	100.0	6,720,961	4.1
日本	52,312	▲1.6	3.9	269,397	1.1
韓国	69,354	▲6.4	5.2	331,609	3.8
台湾	51,912	▲11.1	3.9	258,065	▲0.4
中国+香港計	879,950	▲9.1	65.7	4,402,407	3.5
中国	858,656	▲8.9	64.1	4,289,956	3.7
香港	21,294	▲16.0	1.6	112,452	▲1.9
マカオ	18	0.9	0.0	106	▲8.4
ASEAN計	206,594	▲3.6	15.4	1,057,611	6.4
シンガポール	7,840	6.4	0.6	40,801	9.2
フィリピン	9,773	▲6.7	0.7	51,218	▲3.1
マレーシア	23,355	▲4.8	1.7	118,879	4.9
インドネシア	29,957	▲9.8	2.2	156,014	1.1
タイ	40,199	▲7.4	3.0	218,921	8.4
ベトナム	90,260	▲1.6	6.7	442,327	7.0
カンボジア	4,626	45.1	0.3	26,624	40.7
ミャンマー	584	19.2	0.0	2,826	24.9
南アジア計	78,387	▲1.9	5.9	401,766	11.2
スリランカ	3,268	▲8.0	0.2	19,659	13.1
バングラデシュ	7,371	▲4.4	0.6	41,531	6.0
パキスタン	8,902	▲4.2	0.7	43,255	3.7
インド	58,846	▲0.9	4.4	297,322	13.0

(注) 集計対象は、日本、韓国、台湾、中国、香港、マカオの他、ASEANのうちシンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマーの8ヶ国、南アジアではインド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュの4ヶ国、合計18ヶ国・地域を対象としている。また、速報値ベースでの発表のため、後に若干の修正が加わる場合がある。

II. 品目別荷動き

- (1) 往航荷動き量を品目別にみると、荷動きを牽引している住宅関連 3 品目（「家具及び家財道具」、「建築用具及びその関連品」、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」）の合計荷動き量は、2 ヶ月連続の減少となる 8.7%減の 30.6 万 TEU（シェア 22.8%）。

品目別でみると、「家具及び家財道具」は 2 ヶ月連続の減少となる 10.5%減の 20.5 万 TEU、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」も 2 ヶ月連続の減少となる 2.2%減の 6.2 万 TEU、「建築用具及びその関連品」も 2 ヶ月連続の減少となる 9.2%減の 3.9 万 TEU。

米国の住宅関連指数等をみれば、住宅金利上昇と住宅価格上昇（3 月時点：中古価格は前年比 4.9%増、新築価格は同 6.5%増）などの影響で、中古住宅販売件数が前年比 5%減（5 月）、新築住宅販売件数も前年比 11.6%減（4 月）となっており、これが住宅関連品目の荷動き減少基調の直接的な影響と考えられる。

- (2) 「繊維及びその製品」は 2 ヶ月連続の減少となる 4.7%減の 13.5 万 TEU。
- (3) 「一般電気機器」は 3 ヶ月連続の減少となる 8.9%減の 10.2 万 TEU、「テレビ・ビデオ等の映像・音響製品」は 2 ヶ月ぶりの減少となる 0.8%減の 3.8 万 TEU。
- (4) 「自動車部品」は 2 ヶ月連続の減少となる 10.0%減の 5.1 万 TEU、「タイヤ及びチューブ」は 5 ヶ月ぶりの減少となる 6.5%減の 3.9 万 TEU。

表-2 往航:2018 年 5 月の品目別荷動き(上位 10 品目)

品目名	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	寄与度 (%)	1-5 月 前年同期比(%)	シェア (%)
1. 家具及び家財道具	204,922	▲10.5	▲1.7	5.3	15.3
2. 繊維及びその製品	134,977	▲4.7	▲0.5	5.3	10.1
3. 一般電気機器	101,643	▲8.9	▲0.7	4.1	7.6
4. 床材・ブラインド等のプラスチック製品	62,009	▲2.2	▲0.1	9.3	4.6
5. 自動車部品	51,209	▲10.0	▲0.4	1.2	3.8
6. タイヤ及びチューブ	38,773	▲6.5	▲0.2	9.1	2.9
7. 建築用具及び関連品	38,736	▲9.2	▲0.3	3.7	2.9
8. テレビ、ビデオ等の映像・音響製品	38,174	▲0.8	0.0	8.5	2.9
9. 履物及び附属品	37,788	▲1.5	0.0	11.0	2.8
10. 車両機器及び部品	36,825	▲0.4	0.0	13.2	2.8

Ⅲ. 国別品目別荷動き動向

表-3 往航:2018年5月の国別品目別荷動き(上位5品目)

	順位	品目名	TEU	前年比(%)	自国におけるシェア(%)
	日本積	1位	自動車部品	12,188	▲3.4
	2位	車両機器及び部品	6,307	3.5	12.1
	3位	タイヤ及びチューブ	4,102	▲3.2	7.8
	4位	建設機械	3,920	5.3	7.5
	5位	テレビ、ビデオ等の映像・音響製品	2,096	▲13.1	4.0
	順位	品目名	TEU	前年比(%)	自国におけるシェア(%)
中国積	1位	家具及び家財道具	143,460	▲12.8	16.7
	2位	繊維及びその製品	78,027	▲6.8	9.1
	3位	一般電気機器	74,075	▲6.1	8.6
	4位	おもちゃ	30,876	▲17.3	3.6
	5位	床材・ブラインド等のプラスチック製品	49,687	▲2.7	5.8
	順位	品目名	TEU	前年比(%)	自国におけるシェア(%)
韓国積	1位	自動車部品	9,615	▲15.0	13.9
	2位	一般電気機器	9,164	▲7.3	13.2
	3位	タイヤ及びチューブ	5,927	▲12.3	8.5
	4位	車両機器及び部品	4,143	8.4	6.0
	5位	レジン等の合成樹脂	2,568	▲19.5	3.7
	順位	品目名	TEU	前年比(%)	自国におけるシェア(%)
台湾積	1位	建築用具及び関連品	6,885	▲9.1	13.3
	2位	自動車部品	5,688	▲24.9	11.0
	3位	家具及び家財道具	3,573	▲19.2	6.9
	4位	床材・ブラインド等のプラスチック製品	3,449	▲4.9	6.6
	5位	鋼材及びその製品	2,585	24.6	5.0
	順位	品目名	TEU	前年比(%)	自国におけるシェア(%)
ベトナム積	1位	家具及び家財道具	35,389	▲4.4	39.2
	2位	繊維及びその製品	14,386	15.3	15.9
	3位	履物及び附属品	10,343	21.2	11.5
	4位	魚及びその調整品	1,653	▲8.8	1.8
	5位	コンピュータ及び半導体	1,759	▲36.3	1.9
	順位	品目名	TEU	前年比(%)	自国におけるシェア(%)
インド積	1位	繊維及びその製品	11,540	▲9.7	19.6
	2位	家具及び家財道具	3,434	5.5	5.8
	3位	セメント、石、砂、粘土等	2,579	▲13.2	4.4
	4位	文房具及び骨董品	2,140	8.1	3.6
	5位	鋼材及びその製品	2,941	▲1.1	5.0

注:2016年における各国の順位による

IV. 船社別荷動き動向

表-4 往航:船社別荷動きシェア(%)

順位	往航船社名	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年1-5月	最近の推移など
1	CMA-CGM + APL/NOL	13.41	13.52	13.54	14.79	15.00	2ヶ月連続の減少
	(CMA-CGM)	6.41	7.73	7.45	7.90	8.13	
	(APL/NOL)	7.00	5.79	6.09	6.89	6.87	
2	ONE(ONE+NYK+MOL+KL)	14.73	14.88	15.24	15.87	13.82	3ヶ月連続の減少
	(ONE)	0.00	0.00	0.00	0.00	2.05	
	(KLINE)	5.57	5.77	5.92	5.68	3.95	
	(NYK)	4.57	4.61	4.74	5.10	3.97	
	(MOL)	4.59	4.50	4.58	5.10	3.85	
3	COSCON	10.96	11.21	10.13	10.16	10.35	5ヶ月ぶりの減少
	(COSCO)	6.58	6.64	8.45	10.16	10.35	
	(CHINA SHIPPING)	4.38	4.57	1.68	0.00	0.00	
4	EVERGREEN	10.23	10.42	10.78	10.33	9.75	3ヶ月連続の減少
5	MAERSK	10.03	8.79	9.35	9.34	9.59	2ヶ月ぶりの減少
6	MSC	6.53	6.74	7.60	7.99	8.30	2ヶ月ぶりの減少
7	OOCL	4.72	4.72	5.25	6.35	7.03	15ヶ月ぶりの減少
8	HAPAG-LLOYD	4.42	4.12	4.43	4.63	5.52	11ヶ月連続の増加
9	HYUNDAI	5.23	4.50	4.67	5.47	5.43	3ヶ月ぶりの増加
10	YANG MING	5.01	5.21	5.15	5.10	5.09	3ヶ月ぶりの増加
	OTHERS	14.73	15.88	13.87	9.97	10.12	2ヶ月連続の増加
	TOTAL	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	

* 2014-2018年のCOSCONの数値はCOSCO+CHINA SHIPPINGの合計値(シェア)

* 2014-2018年のCMA-CGM + APL/NOLの数値は両社の合計値(シェア)

* 2014-2017年のONEの数値はNYK、MOLとKLINEの合計値(シェア)、2018年4月からONEの合計値(シェア)もプラス。

* 単位は%。順位は2018年1-5月の累計を基準としたもの。2017、2018年は暫定値。

V. コンテナ運賃の動向

表-5 往航:コンテナ運賃の推移(2017年/2018年対比)

(1)EASTBOUND			(Drewry:Container Freight Rate Insight)											2018年6月8日		
積地	向け地			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
Shanghai (China)	Los Angeles (U.S.A)	2017年	20ft	1,830	1,820	1,320	1,350	1,380	1,150	1,190	1,500	1,400	1,240	1,260	1,120	
			40ft	2,300	2,270	1,650	1,660	1,690	1,460	1,520	1,910	1,790	1,600	1,620	1,420	
		2018年	20ft	1,270	1,360	1,060	1,070	1,230								
			40ft	1,630	1,740	1,410	1,430	1,510								
		前年比	20ft	-30.6%	-25.3%	-19.7%	-20.7%	-10.9%								
			40ft	-29.1%	-23.3%	-14.5%	-13.9%	-10.7%								
Shanghai (China)	New York (U.S.A)	2017年	20ft	2,840	2,660	2,380	2,240	2,180	1,920	1,990	2,290	2,020	1,670	1,770	1,700	
			40ft	3,570	3,420	3,000	2,770	2,720	2,420	2,520	2,910	2,500	2,150	2,270	2,130	
		2018年	20ft	2,300	2,350	1,860	1,870	2,030								
			40ft	2,910	3,090	2,420	2,400	2,510								
		前年比	20ft	-19.0%	-11.7%	-21.8%	-16.5%	-6.9%								
			40ft	-18.5%	-9.6%	-19.3%	-13.4%	-7.7%								
Yokohama (Japan)	Los Angeles (U.S.A)	2017年	20ft	1,710	1,650	1,610	1,570	1,600	1,580	1,510	1,760	1,600	1,530	1,530	1,470	
			40ft	2,090	2,010	1,960	1,910	1,920	1,930	1,840	2,150	1,950	1,870	1,870	1,800	
		2018年	20ft	1,550	1,600	1,500	1,500	1,550								
			40ft	1,890	1,960	1,830	1,830	1,880								
		前年比	20ft	-9.4%	-3.0%	-6.8%	-4.5%	-3.1%								
			40ft	-9.6%	-2.5%	-6.6%	-4.2%	-2.1%								
Yokohama (Japan)	New York (U.S.A)	2017年	20ft	2,810	2,920	3,050	2,680	2,860	2,680	2,440	2,750	2,490	2,310	2,280	2,410	
			40ft	3,380	3,500	3,650	3,200	3,420	3,190	2,900	3,310	2,890	2,750	2,700	2,880	
		2018年	20ft	2,780	2,750	2,540	2,560	2,400								
			40ft	3,380	3,300	3,060	3,070	2,900								
		前年比	20ft	-1.1%	-5.8%	-16.7%	-4.5%	-16.1%								
			40ft	0.0%	-5.7%	-16.2%	-4.1%	-15.2%								

参考資料

表一 米国内地域別(西岸/東岸/ガルフ)荷動きの構成比の推移

米国内地域 集計年(月)	往 航			復 航		
	西岸揚 (%)	東岸揚 (%)	ガルフ揚 (%)	西岸積 (%)	東岸積 (%)	ガルフ積 (%)
2015年4月	65.2	31.5	3.3	58.3	37.6	4.1
5月	65.1	31.9	3.0	60.1	35.5	4.5
6月	64.8	32.8	2.4	58.0	38.6	3.4
7月	64.0	33.3	2.7	60.9	35.3	3.8
8月	67.1	30.5	2.4	63.1	33.7	3.3
9月	64.9	32.5	2.7	57.9	38.1	4.0
10月	64.3	33.3	2.4	60.6	36.1	3.4
11月	66.8	30.8	2.3	59.0	37.5	3.5
12月	64.7	32.1	3.2	59.3	36.2	4.5
2016年1月	65.8	31.4	2.7	56.9	38.9	4.2
2月	64.1	33.0	2.9	59.8	35.9	4.3
3月	60.9	36.2	2.9	60.3	35.4	4.4
4月	65.6	31.5	2.9	60.7	35.4	4.0
5月	65.8	31.6	2.6	58.7	37.3	4.0
6月	64.9	31.9	3.2	58.9	36.6	4.5
7月	64.0	32.6	3.4	61.2	34.4	4.4
8月	63.8	32.9	3.3	60.1	35.5	4.4
9月	64.0	32.5	3.5	60.3	35.1	4.6
10月	63.6	32.6	3.8	60.9	34.5	4.5
11月	65.2	31.2	3.6	60.4	35.0	4.5
12月	64.7	31.8	3.5	58.8	35.6	5.6
2017年1月	63.5	33.0	3.5	52.3	41.0	6.6
2月	59.1	37.0	4.0	57.2	36.8	6.0
3月	64.7	31.5	3.8	59.4	34.7	5.9
4月	63.8	32.7	3.5	56.9	38.1	4.9
5月	64.8	32.0	3.2	57.6	37.8	4.6
6月	62.9	33.1	4.1	57.2	37.9	4.9
7月	63.3	32.6	4.1	56.3	38.4	5.3
8月	64.4	32.2	3.3	58.6	36.4	5.0
9月	60.4	34.8	4.9	58.3	36.6	5.1
10月	59.8	35.7	4.5	55.6	39.2	5.2
11月	65.7	30.2	4.1	57.5	37.7	4.8
12月	62.6	33.6	3.9	56.0	38.3	5.7
2018年1月	62.7	33.5	3.8	56.0	38.9	5.1
2月	62.3	33.7	4.0	56.5	37.9	5.6
3月	55.5	39.5	5.0	56.0	38.7	5.3
4月	64.8	31.4	3.8			
5月	66.5	29.4	4.1			